

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 二本松市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
二本松市地域公共交通活性化協議会	岩代地域コミュニティバス3系統	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に利用者調査と運行事業者からの意見聴取を行い、路線の見直しについて検討している。 ・平成31年4月1日から、市内高齢者(75歳以上)の公共交通運賃無料化事業を開始し、利便性の向上及び利用促進に努めた。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 高校生の通学利用者の減少、交通手段を持った高齢者の増加等の要因により、目標数値7,467人(平成29年度実績の10%減)に対し、実績値は7,202人と目標を達成できなかった(達成率96%)。しかし、平成30年9月から平成31年3月までの利用者数が2,902人に対し、高齢者の公共交通運賃無料化事業開始後の平成31年4月から令和元年9月までの利用者数は4,300人と増加していることから、引き続き利用促進に努め、利用者数の増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者の声を聞きながら定期的に見直しを検討するとともに、利用実態に応じた路線の統廃合等、抜本的な見直しの必要性についても検討していく。 ・主な施設等までの乗り継ぎマップの作成を検討する等、新規利用者や高齢者にとって身近で分かりやすい形で情報を提供できるよう努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	二本松市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>二本松市は、平成17年12月に二本松市、安達町、岩代町、東和町の1市3町が合併し誕生し、面積は344.42平方キロメートル、人口は54,376人(令和元年9月末現在)である。</p> <p>平成20年10月に二本松市地域公共交通活性化協議会を設置して公共交通の見直しを進め、平成22年3月には、「市の拠点、地域の拠点を中心とした、市民の移動を支える“持続可能な交通体系”の確立」を目的として、二本松市地域公共交通総合連携計画(以下「連携計画」という。)を策定、令和元年6月には連携計画の基本方針を継続する形で二本松市地域公共交通網形成計画を策定した。</p> <p>連携計画に基づき公共交通の再編を行い、①地域の拠点間は路線バスと鉄道が担い、②地域内はコミュニティバスとデマンド型乗合タクシーがきめ細かく運行することとして見直しを進め、平成22年4月からコミュニティバスの運行を開始、平成26年10月からはコミュニティバスの路線の一部見直しを行いデマンド型乗合タクシーの運行を開始した。</p> <p>現在、地域内を運行するコミュニティバスとデマンド型乗合タクシーは、通学や通勤、買い物、通院など地域住民の移動に利用され、特に、高齢者等のいわゆる交通弱者と呼ばれる方たちにとっては必要不可欠な移動手段となっており、今後とも市民の暮らしを支えるために安定的かつ継続的に運行していくことが必要である。</p>